

凡例

1 「京都大学歴代総長・教授・助教授履歴検索システム」は、1949年5月30日以前の京都帝国大学・京都大学において、総長・教授・助教授に在任・在職した人物の主要な履歴を記載し、検索の便に供したものである。

2 表記は以下の要領によった。

・漢字は常用漢字を使用した。

・年代は西暦を使用した。なお、明治5年以前の太陰暦については、年表記のみを西暦に直した。

・京都大学大学文書館所蔵の履歴書類を典拠にする記述は、国名・地名を含めて原則として原資料の通りとした。

・京都大学大学文書館所蔵資料とその他の参考資料とで記述内容が異なった場合、原則として前者の情報を採用した。

4 項目の記載基準は以下のとおり。

・「専門」は、留学経験者の場合は海外留学時の研究テーマを参考に記載した。

・「部局等」は、専任として在職した部局すべてを記載し、総長在任者は「総長」と記載した。

・「本籍」は、都道府県名のみを記載した。

・「学内役職」は、部局長、評議員等の学内における管理的業務について記載した。

・「職歴（在職中・退職後）」は、京大在職・在任中および退職後の主要な職歴について記載した。

・「適格審査」は、敗戦後実施された教員適格審査の結果について記載した。

・「栄誉」は、ノーベル賞・文化勲章・文化功労者・恩賜賞・日本学士院賞の受賞について記載した。